

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	掘削現場における作業員の埋没事案
3. 体験した事例の中心的要素	雨水処理施設を設置する為の穴(縦約3m、横約5m、深さ約1.6m)の周囲が軟弱で、亀裂が入っていたことによる崩落危険。
4. 体験した事例の原因・理由	亀裂が入っていたことを認知していたが、活動隊員に周知していなかった。

【体験した事例の直接的原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。(大丈夫だろうと思った。)
------------------	------------------------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成31年2月7日 午後1時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外:福祉施設の建設現場で、敷地内は掘削箇所が複数点在。地面は全面土。
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	重傷の怪我をしていた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	その他:土砂の崩落
7. 事例体験時の活動	救助現場活動中期
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	救出準備作業
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

○当事者A	年齢[45]歳、勤続年数[24]年、現場経験年数[1] 年、階級[消防司令補] 同様の活動 [初めて]、任務 [複数隊の隊長]
○当事者B	年齢[45]歳、勤続年数[26]年、現場経験年数[3] 年、階級[消防司令補] 同様の活動 [初めて]、任務 [複数隊の隊長]
○当事者C	年齢[34]歳、勤続年数[15]年、現場経験年数[1] 年、階級[消防士長] 同様の活動 [初めて]、任務 [隊員]
○その他(当事者が4人以上の場合)	27歳 勤続10年 現場経験3年 消防士 機関員 25歳 勤続8年 現場経験1年 消防士 機関員

[illegible]

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者B、C	現着後、負傷者に接触	
経過2	当事者A	現場の状況確認後、当事者B、Cが観察中であることを確認する。	
経過3	当事者A	その他の者を負傷者の元へ向かわせる。 その他の者1名を地上に待機させる。	
経過4	当事者A	現場の梯子を使用し救出する旨を全員に周知、バックボードを使用し救出準備に入る。	
経過5	当事者A	崩落個所と同一面に亀裂を確認する。 周知せず。	
経過6	当事者A	亀裂に注意しながら救出する。	
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

● ●

○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できた 周囲の視界が確保できていた

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	はい

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

隊員が亀裂に近づいたら注意喚起する予定でいた。

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

--

○活動環境の対策について

--

○指揮・情報伝達の対策について

--

工事現場における救出活動

- ※ 周囲には、複数の穴（掘削場所）があった。
- ※ 工事現場の地面は、土であった。

